

## 平成25年度壬生町社会福祉協議会事業報告

### 概 要

急激な社会経済情勢の変化、少子高齢化の進展、失業率の増大と就労形態の変化のもとで、「社会保障と税の一体改革」が行われましたが、地域社会には様々な生活諸問題が生じています。

地域福祉の中核的役割を担う本会においては、今後の地域福祉推進の指針となる町地域福祉計画と併せて、地域福祉活動計画（26年度～30年度）を策定しました。また住民を始め関係機関及び関係団体と協力して、地域福祉に関する各種福祉事業や地域見守りネットワーク事業、お達者サロン事業等の小地域福祉活動を積極的に展開しました。

障がい者関係事業としては、就労支援施設「むつみの森」及びこども発達支援センター「ドリームキッズ」の指定管理者（21年度～25年度）として、安定的かつ効率的な事業の運営に力を注ぎ、住民から信頼される施設となるよう努めました。

以下、本年度の実施状況につきましては、次のとおりです。

会議・監査会
--------

(1) 理事会

回	開催日	出席者数	付議内容
第1回	5月28日	理事12名 監事1名	(1) 平成24年度事業報告及び収支決算について (2) 評議員の選任について
第2回	7月19日	理事11名 監事2名	(1) 自治会における壬生町社会福祉協議会会費等徴収に係る訴訟事件の対応について (2) 評議員の選任について
第3回	12月17日	10名	(1) 平成25年度収支補正予算(第1号)について (2) 経理規程の改正について (3) 評議員の選任について
第4回	3月14日	理事13名 監事2名	(1) 平成25年度収支補正予算(第2号)について (2) 平成26年度事業計画及び収支予算について (3) 副会長の互選について

(2) 評議員会

回	開催日	出席者数	付議内容
第1回	5月28日	評議員18名 監事1名	(1) 平成24年度事業報告及び収支決算について (2) 役員を選任について
第2回	7月19日	16名	(1) 自治会における壬生町社会福祉協議会会費等徴収に係る訴訟事件の対応について
第3回	12月17日	20名	(1) 平成25年度収支補正予算(第1号)について (2) 理事の選任について
第4回	3月14日	17名	(1) 平成25年度収支補正予算(第2号)について (2) 平成26年度事業計画及び収支予算について (3) 理事の選任について

(3) 監査会

回	開催日	出席者数	監査内容
第1回	5月20日	2名	(1) 平成24年度事業執行状況について (2) 平成24年度各会計収支決算について
第2回	11月1日	2名	(1) 平成25年度上半期事業執行状況について (2) 平成25年度各会計上半期収支決算について

※ 税理士の指導の下、監査会を実施した。

## 事業

### 1 法人運営

#### (1) 会員加入と会費の状況

会員区分	会費区分	会員数	会費額
普通会員	500円	9,709世帯	4,854,500円
特別会員	10,000円	44名	440,000円
賛助会員	5,000円	32名	160,000円
協力会員	2,000円	199名	398,000円
合計		9,984名	5,852,500円

- (2) 高額寄付者及び物品寄付者表彰 被表彰者 3団体 2名
- (3) 福祉基金積立の実施 積立額 8,900万円(平成26年3月31日現在)
- (4) 介護保険事業所の効率的な経営を図るため、居宅介護支援係と訪問介護係を統合した。
- (5) 社協だよりを発行 年4回
- (6) 募金箱を公共施設、商店等に設置した。 10箇所
- (7) 税理士による会計指導の実施

### 2 在宅福祉活動の推進

#### (1) 地域福祉推進事業費補助事業の実施

小学校8校、中学校2校、高校1校 計625,000円  
とちぎ権利擁護センター「あすてらす」への協力 生活支援員 8名  
金銭管理サービス、相談業務 7件

- (2) リフト付ワゴン車の貸出事業 4件
- (3) ホームヘルプ事業(自主事業) 月平均 2名利用
- (4) 福祉有償運送事業 月平均 1名利用

### 3 障がい児・者福祉対策

#### (1) 心身障害児者親の会事務局を担当し、運営費の一部助成を行う。

心身障害児者親の会は、会員相互の親睦と障がい者に対する理解と愛護思想の普及、関係団体との連絡調整を目的として、心身の障がい児者及び保護者と目的に賛同する者で組織されており、主にレクリエーション教室やお楽しみ会、また「心のとも鉛筆」販売、「福祉わかめ」販売運動を実施しています。

会員数 39名  
助成金 63,000円

#### (2) 身体障害者福祉会事務局を担当し、運営費の一部助成を行う。

壬生町身体障害者福祉会は、会員相互の親睦と身体障がい者の福祉の増進を目的にしており、主な活動はスポーツ大会、各種研修会、お茶の販売を行っている。

会員数 130名  
助成金 45,000円

#### (3) 視覚障がい者等に対する朗読テープ「声の広報」活動

町発行の広報、社協だより等の朗読活動 対象 3名

#### (4) 聴覚障害者協会栃木支部の運営費の一部助成を行う。

助成金 5,000円

### 4 高齢者の福祉対策

- (1) 独居及び寝たきり高齢者友愛訪問事業をいきいき壬雷クラブの協力を得て実施した。 訪問延べ件数 249名(慰問品補助)

(2) 円遊会（高齢者会食会）の開催

開催日	平成25年11月7日	平成25年11月8日
招待者地区及び人数	おもちゃのまち・南犬飼地区 63名	壬生・稲葉地区 65名
協力学校	壬生東小学校	壬生東小学校
協力者人数 (ボランティア団体)	34名 コスモス、みぶ民話ふくべの会、かたつむり、きかせて、町文化協会（歌謡部、吟剣詩舞部、日舞部）	34名 コスモス、みぶ民話ふくべの会、母親クラブ、きかせて、町文化協会（フラダンス部、歌謡部）

(3) 日常生活用具の貸付事業

品名	所有台数	貸出延べ回数	貸出中の台数
ギャジベット	0台 (業者管理)	3回	0台
車いす	34台	21回	12台

(4) いきいき壬雷クラブ（老人クラブ連合会）事務局を担当し、運営費の一部助成を行う。

いきいき壬雷クラブは、高齢者の福祉の増進を目的に、各町内44の単位老人クラブで組織されており、グラウンド・ゴルフ大会、ゲートボール大会、スポーツ大会、演芸大会を主な事業に据え、研修会や講習会を行い、単位老人クラブの育成指導、また会員相互の親睦を図っている。

会員数 1,807名

助成金 315,000円

(5) シルバードライバークラブの事務局を担当

(6) 陶芸、日光彫、脳のトレーニングサークルの運営費の一部助成

(7) 日常生活自立支援事業（あすてらす・しもつけ）への協力 利用者7名

(8) 認知症高齢者介護者サロンを地域包括支援センターと共催した。 6回

## 5 児童・ひとり親家庭の福祉対策

(1) ひまわり会（ひとり親家庭福祉会）事務局を担当し、運営費の一部助成を行う。

町在住のひとり親家庭及び寡婦家庭で組織され、母子寡婦福祉法の理念に基づき会員相互の親睦と福祉の向上を目的に、研修及び講習会、高齢者施設、子育て支援センター訪問等を行っている。

会員数 36名

助成金 27,000円

(2) 準要保護世帯の児童・生徒に対し、学用品費の一部(図書カード2,000円)を助成することにより、その健全な育成を支援した。

対象者数 134名(83世帯)

## 6 低所得者の福祉対策

(1) 相談件数 286件(社会福祉金庫168件、生活福祉資金118件)

(2) 社会福祉金庫 新規貸付 23件 631,000円  
償還件数 25件(過年度分を含む。)

(3) 生活福祉資金 新規貸付 6件 2,197,000円  
(生活費用3件、教育費用3件)

(4) 寄付物品の払い出し

お米券支給 2件(4枚)

テレホンカード2件(2枚)

その他生活用品(紙オムツ)の支給

## 7 心配ごと相談所の運営

- (1) 心配ごと常設相談 相談件数 42件 (家族関係 20件、財産関係 3件、老人福祉 6件、その他 13件)
- (2) 特別相談 (弁護士相談) を年 12回実施した。  
相談件数 57件  
(家庭家事関係 22件、不動産関係 8件、金銭関係 9件、その他 18件)

## 8 被災者の援助活動

- (1) 行路病者等の援助 9件
- (2) 火災見舞金・生活用品交付 (布団、毛布、緊急セット) 1件
- (3) 東日本大震災支援  
被災地支援ボランティア保険(天災Aタイプ)の助成 86名 (保険給付 1件)  
多賀城市とのボランティア交流会を開催した (ボランティア連絡協議会協力 29名)

## 9 ボランティア活動の推進

- (1) ボランティアセンター (ボランティアの登録、紹介活動) の運営  
相談件数 217件
- (2) ボランティアサマースクール  
期 日 平成 25 年 8 月 20 日  
開催場所 壬生町保健福祉センター  
内 容 「リーダーとして活躍しよう」講演会、車いす体験  
参加人数 14名 (壬生中学校、南犬飼中学校、壬生高校生徒)  
期 日 平成 25 年 8 月 2 日  
開催場所 嘉陽が丘ふれあい広場  
内 容 仲間づくりレクリエーション (子ども育成会事業への協力)  
参加人数 52名
- (3) ボランティア保険の加入促進と加入手続き事務を行う。  
加入団体数 45 団体、加入者数 (個人含む) 1,676 名、保険給付 2 件
- (4) ボランティアグループ運営費の一部助成及び活動援助を行う。  
壬生町ボランティア連絡協議会  
壬生町朗読ボランティアグループひばり  
壬生町点訳グループゆうがお  
手話サークルたんぽぽ  
手話サークルハーモニー  
ボランティアサークルかたつむり  
在宅福祉サービスこもれび  
傾聴ボランティアグループきかせて
- (5) 高齢者疑似体験・福祉教材の貸出を行った。 7 件
- (6) 民生委員・児童委員協議会の運営費の一部助成を行う。 72,000 円
- (7) 各種講座・講習会の開催  
ア あじさいサロン (障がい者サロン)  
開 催 6 月 15 日から 1 月 11 日まで (8 回)  
開催場所 壬生町保健福祉センター  
内 容 障がい者の社会参加のきっかけ作りと生きがい作りとして、  
スポーツレクリエーション等を行う。  
参加人数 延べ 131 名

イ 車いすバスケットボール交流事業（小学生対象）

車いす利用者の講話と車いすバスケットボールの体験を行う。

開催日	会場	参加者
10月31日	壬生東小	68名
11月15日	安塚小	66名
11月19日	壬生小	106名
12月3日	藤井小	28名
12月18日	壬生北小	34名
12月19日	稲葉小	37名
計	6校	339名

ウ 手話講習会（一般対象）

開催 11月27日から3月19日まで（16回）

開催場所 壬生町保健福祉センター

内容 初級程度

参加人数 参加者13名（修了者7名）

エ 高齢者（お達者）サロンの実施

内容 参加者同士の交流と健康体操等を行う。

会場（開催地区）	開講時期	参加人数
睦地区コミュニティセンター	平成18年11月	29名
安塚地区コミュニティセンター	平成19年6月	38名
NPO法人のぞみ会のぞみホーム	平成21年9月	16名
国谷新田公民館	平成22年6月	7名
下表町公民館	平成23年5月	23名
上田公民館	平成24年5月	19名
あけぼの公民館	平成24年6月	23名
睦地区コミュニティセンター（幸町一丁目）	平成24年7月	22名
原坪公民館	平成25年6月	15名
駅東町公民館	平成25年7月	14名
東下台公民館	平成25年7月	23名
城南公民館	平成25年7月	27名
落合公民館	平成25年10月	22名
至宝公民館	平成25年11月	18名
グループホーム元気（西高野地区）	平成26年2月	15名
15ヶ所		311名

オ 介護予防ボランティア等育成・支援事業（受託事業）

・傾聴ボランティア養成講座（初級）

開催 2月17日から3月3日まで（3回）

開催場所 壬生町保健福祉センター

内容 傾聴ボランティアを養成する傾聴スキルの向上を目的に講話と実技を行う。

参加人数 14名

・介護予防サポーター養成講座（中級）

開催 1月15日から3月5日まで（実習含め7回）

開催場所 壬生町保健福祉センター

内容 介護予防運動に関する講義及び実技、実習を行う。

参加人数 29名

カ エコキャップ収集活動

エコキャップ収集活動促進のための啓発活動（ポスター・パネル等）

キ 地域福祉（活動）計画策定への取組み（町と共催）

- ・第1回庁内委員会  
開 催 平成25年10月11日  
開催場所 町役場第一会議室
- ・第2回策定委員会の開催  
開 催 平成25年11月26日  
開催場所 町役場ひばり館
- ・パブリックコメント実施  
期 間 平成26年1月8日～2月9日
- ・第3回策定委員会の開催  
開 催 平成26年3月20日  
開催場所 町役場第二会議室

ク 高齢者見守りネットワーク事業（受託事業）

自治会から推薦された見守りチーム員に対し、その活動がより活発に実施されるよう、研修及びコーディネートをを行った。

- ・チーム員との打ち合わせ（3回）
  - 期 日 平成25年4月22日
  - 開催場所 壬生町保健福祉センター
  - 内 容 地域見守りネットワーク事業の概要説明
  - 参加人数 8名
  - 期 日 平成25年7月16日
  - 開催場所 壬生町保健福祉センター
  - 内 容 地域見守りネットワーク事業の成果と課題
  - 参加人数 13名（見守りチーム員、自治会長、民生委員）
  - 期 日 平成25年12月13日
  - 開催場所 壬生町保健福祉センター
  - 内 容 自治会単位の地域見守りチーム組織について
  - 参加人数 11名（見守りチーム員、自治会長、民生委員）
- ・研修会の開催（3回）
  - 期 日 平成26年1月28日
  - 開催場所 壬生町保健福祉センター
  - 内 容 「災害時の要援護者対応について」講演会
  - 参加人数 120名（見守りチーム員含む一般住民）
  - 期 日 平成26年2月18日
  - 開催場所 壬生町保健福祉センター
  - 内 容 高齢者の日常生活の法的トラブルに関する相談
  - 参加人数 3名（見守りチーム員含む一般住民）
  - 期 日 平成26年3月11日
  - 開催場所 壬生町保健福祉センター
  - 内 容 「地域見守りネットワークの役割について」講演会
  - 参加人数 100名（見守りチーム員含む一般住民）

(8) 健康ふくしま祭り

実施日 10月27日（日）  
会 場 壬生町保健福祉センター  
主催者 壬生町健康ふくしま祭り実行委員会  
参加者数 約3,000名 協力団体・企業数 56団体

(9) 朗読奉仕員養成講座（初級コース）の開催に協力した（全15回、9名）

## 10 各種募金運動への協力

- (1) 日本赤十字社栃木県支部壬生町分区の事務を担当（町からの事務委任）  
救急法、AED救急法講習会の開催 1回、受講者15名  
壬生町赤十字奉仕団の活動援助を行う。 団員97名  
赤十字周知活動紹介 六美北部自治会ワンワン防災フェスティバル等 4件  
日本赤十字社募金運動(6月)

自治会等の協力を得て次のような実績を上げた。

目標額	4,299,000円
実績額	4,223,097円
(内訳)	
自治会(戸別募金)	4,198,097円
社費他	25,000円

東日本大震災義援金の取り扱い

平成25年度	12件	193,082円
合計	570件	21,301,873円(平成22年度からの累計)

- (2) 栃木県共同募金会壬生町支会の事務を担当

自治会等の協力を得て次のような実績を上げた。

目標額	5,361,000円
実績額	5,502,415円
(内訳)	
自治会(戸別募金)	4,398,292円
街頭募金	11,521円
法人募金(356法人)	820,310円
学校募金	144,208円
職域募金	28,282円
イベント募金	17,310円
篤志募金	80,222円
その他の募金	1,871円
利息	399円

## 11 介護保険事業の実施

- (1) 居宅介護支援事業

ア 介護サービス(ケアプラン)作成及び見直し並びに介護サービスに係わる連絡及び調整

イ その他介護保険法令に従った居宅介護支援

ウ 介護支援専門員 2名

エ 利用実績(月平均)

区 分	25年度	24年度	
契約者数	60	63	
サービス計画作成件数	要支援	4	5
	要介護1	9	7
	要介護2	12	18
	要介護3	13	16
	要介護4	10	15
	要介護5	10	17
	計(実数)	58	78

要支援は、地域包括支援センターからの委託となる。

(2) 訪問介護事業

食事・オムツ交換等の身体介護及び調理・掃除等の生活支援サービスを行う。

利用実績（月平均）

区 分		25年度			24年度		
契約者数		38			41		
要介護区分		利用 人数	回数	時間	利用 人数	回数	時間
実 利 用 者 数	要支援	16	109	109	17	118	140
	要介護1	10	183	172	7	127	109
	要介護2	5	61	58	7	106	102
	要介護3	3	68	58	6	103	88
	要介護4	2	52	55	3	69	44
	要介護5	2	32	18	1	27	13
	計	38	505	470	41	550	496

訪問介護員 3名

登録型訪問介護員 15名

1.2 障害福祉サービス事業の実施

居宅介護等事業 延べ19名

身体障がい者訪問件数 4名

知的障がい者訪問件数 2名

精神障がい者訪問件数 11名

重度障がい者訪問件数 2名

1.3 受託事業の実施

(1) 高齢者生活支援ホームヘルプ事業の実施 月平均 7名

(2) 日中一時支援事業の実施

日中において監護する者がいないため、一時的に見守り等の支援事業を行う。

登録利用者数 23名

利用回数 延べ945回

(3) 高齢者ふれあい・いきいきサロン（生きがい活動支援通所事業）の実施

会場及び登録者数	実施日数	延べ利用者数
ふれあい交流館（21名）	42回	539名
老人憩いの家富士見荘（24名）	46回	468名
計	88回	1,007名

事業内容 健康教室、民話、元気アップ教室、レクリエーション等

(4) 要介護認定調査事業

調査員数 2名（介護支援専門員）

調査件数 2件

(5) 介護予防支援事業の実施 利用者4名

1.4 壬生町就労支援施設「むつみの森」及び壬生町こども発達支援センター「ドリームキッズ」の経営事業

平成21年度より5ヶ年の期限で両施設の指定管理者として、町から指定を受け、管理運営を行う。

(1) 壬生町就労支援施設むつみの森（平成24年度新体系移行）

障がいを持つ人の自立と社会参加に向けて、その健康状態と健全な生活習慣の確立を支援することにより社会性の向上に努め、職業習得に必要な作業訓練及び就労支援活動を行った。

- ア ・就労移行支援事業 利用者 4名  
支援内容 履歴書作成、面接練習及び同行や実習同行等を行う。  
就労支援の実施 就労者 2名  
清掃業務（小山市） 就労1名  
クリーニング会社（下野市） 就労1名
  - ・就労継続支援B型 利用者 30名  
生活・作業訓練等を行う。  
1人当たり平均月額工賃 17,900円  
室内作業14件及び企業内授産作業2件、ペットボトル圧縮処理梱包作業
  - イ 自主生産事業を行う。  
苺、ブルーベリー、りんご、ゆずジャムの製造、販売  
「パンの缶詰」（相手先商標製造）の販売  
花苗の栽培、販売（春・秋）  
布製品の製作・販売  
「とちまるくん」「無事かえる」等のアイロンビーズ製作・販売
  - ウ 地域交流、社会参加支援事業を行う（イベント出張販売、宿泊訓練事業、県障害者スポーツ大会、県ふれあいボウリング大会、日産労連クリスマスチャリティ公演会等）
  - エ 職場体験、実習受入等を行う。  
町内小中学校視察及び職場体験（獨協医科大学医学部及び看護学部実習、特別支援学校生徒施設見学及び実習、民生委員見学等）
- (2) 壬生町こども発達支援センタードリームキッズ  
子どもたち一人ひとりが人として豊かに生きる力、生きていこうとする力を獲得できるよう、障がいの状態や特性に応じた適切な活動を実施し、自己能力の発達に向けた療育を行う。 利用者 44名
- ア 小集団による療育及び個別指導を行う。  
学齢児童週5回 未就学児童週5回（個別療育を適時行う。）  
延べ利用数2,585名
  - イ 専門指導療育（小児科医師2回、言語療法10回、作業療法3回、理学療法3回、臨床心理士4回）を行う。
  - ウ 地域交流、社会参加支援事業を行う。  
ドリームタイム（月1回土曜日の一般児童への開放）と相談  
園外療育、クリスマス会、夕涼み会、デイサービスあゆむ訪問等

## 15 収益事業の実施

自主財源を確保し、社会福祉事業を推進する目的で、次の収益事業を行う。

- ア 黒川の里ふれあいプール売店の設置、経営  
営業期間 平成25年7月13日から8月31日  
軽食及び水泳用品等の販売を行う。  
年間プールの延べ利用人数 63,258名（参考）
- イ 自動販売機の設置、経営 黒川の里ふれあいプール期間中 10台
- ウ 印紙売りさばき、郵便切手販売を行う。 役場 13件  
関係団体等 4件